



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

北海道予選 桂ゴルフ倶楽部(北海道) 結果のお知らせ

< PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 北海道予選 >

◇ 4月15日 ◇ 北海道・桂GC (15-18歳男子6942ヤード、パー72ほかカテゴリー別)

◇ 出場45人 ◇ 雨

< 北海道予選 概況 >

15-18歳の部男子では、気温4度、雨の悪コンディションの中、鳥海颯汰（北海道・音更高3年）が4バーディー、1ボギーの3アンダー69をマークし、蟬川泰果（大阪・興国高3年）に2打差をつける1位で東日本決勝大会（4月21～22日、茨城・美浦GC）に進んだ。同女子は、佐藤光（北海道・大麻高3年）が2位に2打差の82でトップ通過した。13-14歳男子は、小村隼士（北海道・中の島中3年）が82で斎藤叶夢（北海道・札幌中央中2年）と並び、18番からのカウントバックで2年連続1位進出。同女子は高田菜桜（千葉・加曾利中3年）が82で1位となった。

< 北海道予選 結果 >

東日本決勝大会進出者は以下の通り。

▽ 15-18歳男子

【1位】鳥海颯汰（北海道・音更高3年）= 69

【2位】蟬川泰果（大阪・興国高3年）= 71

▽ 同女子

【1位】佐藤光（北海道・大麻高3年）= 82

▽ 13-14歳男子

【1位】小村隼士（北海道・中の島中3年）= 82

【2位】斎藤叶夢（北海道・札幌中央中2年）= 82

【3位】庄内太我（北海道・八条中2年）= 85

▽ 同女子

【1位】高田菜桜（千葉・加曾利中3年）= 82

▽ 11-12歳男子

【1位】本大志（神奈川・末吉中1年）= 72

【2位】塩原琉之介（北海道・拓進小6年）= 81

▽ 同女子

【1位】田中心結（北海道・明星中1年）= 83

▽ 9-10歳男子

【1位】ゴヴォロヴスキー遼河（北海道・柏小5年）= 94

【2位】佐々木康成（北海道・北海道教育大付札幌小5年）= 99

▽ 同女子

【1位】根田うの（北海道・大曲東小4年）= 80

【2位】斎藤碧夏（北海道・北光小5年）= 84

【3位】西本世蘭（大阪・豊川南小4年）= 84

▽ 7-8歳男子

【1位】石口寛樹（奈良・大正小3年）= 75

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる。所属は進学校、新学年で表記しています。

<北海道予選 ハイライト1>

◇15-18歳の部男子◇4月15日

◇北海道・桂G C (6942ヤード、パー72)

鳥海颯汰（北海道・音更高3年）が気温4度、雨の悪コンディションの中を3アンダー69の好スコアで回って2015年13-14歳の部から4年連続1位で東日本決勝大会（4月21～22日、茨城・美浦G C）に進んだ。本人は「たまたまです。というより、ラッキーただけでした」と振り返った。スタートの1番でいきなり左の林に曲げて出すだけだったが「3打目がOKについた」とパーで切り抜けた。2番ではピンまで15ヤードをチップインのバーディーと、確かに「ツキ」はあったのかも。終盤、16番では1メートル、18番で30センチと好ショットを見せるバーディーも奪っている。「でも内容が悪いんです。当たりもよくなかった」と口をとがらせる。3月の全国高校ゴルフ春季大会で予選落ち。「気持ちを切り替えて、ゴルフの組み立てをしっかりとしようと思った」という。東日本決勝大会に向け「強い人たちが出てくる。芝も北海道とは違う。自分のスイングをして、ちゃんと組み立てていくことができれば」と、初めての世界ジュニア代表を目指す。



写真：15-18歳男子 鳥海颯汰
©IJGA2018

<北海道予選 ハイライト2>

◇15-18歳の部女子◇4月15日

◇北海道・桂G C (6315ヤード、パー72)

佐藤光（北海道・大麻高3年）が苦しみながらも10オーバー82で1位となり、東日本決勝大会（4月21～22日、茨城・美浦G C）に進出した。寒さと雨の中で「今日は少し大きめのクラブ選択をしました」という。バーディーは1つだけ。インスタートで折り返した2番では、第2打で左のバンカーに入れたが10ヤードほどが直接入った。「ほとんどラッキーでした」と笑う。この日は70台を目標にしたが「いつものボギーを少なくする」という自分のゴルフができなかった。小6の冬からゴルフを始めたので、まだ5年ぐらい。「いろいろ挑戦してみたい」と、この予選に参加した。東日本決勝大会に向けて1週間もないが「もっとショートゲームをよくしておかないと」と、意欲を見せた。



写真：15-18歳女子 佐藤 光
©IJGA2018

<北海道予選 ハイライト3>

◇13-14歳の部男子◇4月15日

◇北海道・桂G C (6942ヤード、パー72)

小村隼士（はやと、北海道・中の島中3年）が10オーバー82の1位通過にも「パットが入らなかった。1メートル未満も入らない。トップはふさわしくないとと思います」と苦笑した。2年連続のトップ通過だが「去年より全然成長していない」と、昨年は83より1打しか縮められなかった。ただ、身長は昨年より7センチほど伸びて180センチに届こうとしている。この日は2番でカラーから10メートルぐらいを直接入れ、3番パー5では残り100ヤードの第2打を1メートルにつける連続バーディーといい出足だったが「そこから3連続ボギー。8番では池に入れて、9番ではバンカーからホームランして連続ダブルボギー。そんなゴルフでした」と振り返る。それでも2年連続のトップでの東日本決勝大会（4月21～22日、茨城・美浦G C）に出場する。「まだ今年は今を入れて6ラウンドしかしていない。ショット、パットをしっかり練習していきたい」と、早く勘を取り戻したい。



写真：13-14歳男子 小村隼士
©IJGA2018